

# Express5800/T120h

## ご使用時の注意事項

この度は弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
本製品のご使用において、ご注意いただくことがあります。誠に恐れ入りますが、ご使用前に下記内容を必ず  
ご一読ください。

なお、本書は必要なときにすぐに参照できるよう大切に保管してください。

### ■ 注意事項

#### ● 本製品のマニュアルについて

「本製品に関する詳細は、下記サイトに掲載しているマニュアルに記載しています。  
ご購入いただいた型番で、製品マニュアルをご検索ください。

<http://jpn.nec.com/express/>

また、ESMPRO/ServerManager、ESMPRO/ServerAgentService、エクスプレス通報サービス/エクスプレス通報  
サービス (HTTPS)/エクスプレス通報サービス (MG) に関しては、

ESMPRO 日本語ポータルサイト<<http://jpn.nec.com/esmsm/>>

NEC サポートポータル<<http://www.support.nec.co.jp/View.aspx?isIntra=0&id=9010102124>>

の最新の情報およびバージョンをご確認の上、ご利用ください。

#### ● Starter Packについて

本製品で使用する Starter Pack は、以下 Web サイトに最新版が掲載されています。  
Web に掲載されている内容を確認し、バージョン S8.10.004.01 以降 を適用してください。

<http://jpn.nec.com/express/>

(「サポート・ダウンロード」－「ドライバ・ソフトウェア」－「PC サーバー (Express5800 シリーズ)」－「OS  
関連」のページから購入頂いた型番を選択)

#### ● VMware ESXi のドライバ・サービスモジュールについて

本製品で使用する VMware ESXi のドライバ・サービスモジュールは、以下 Web サイトに最新版が掲載されて  
います。Web に掲載されている内容を確認し、適切なバージョンを適用してください。

##### 1. Agentless Management Service および iLO Channel Interface Driver

<http://jpn.nec.com/>

(「サポート・ダウンロード」－「ドライバ・ソフトウェア」－「PC サーバー (Express5800 シリーズ)」－  
「ユーティリティ/マネージメントツール」のページから対象のモデルおよび、OS で “その他” を選択)

##### 2. WBEM プロバイダおよび CLI ツール

<http://jpn.nec.com/>

(「サポート・ダウンロード」－「ドライバ・ソフトウェア」－「PC サーバー (Express5800 シリーズ)」－  
「ストレージ関連」のページから対象のモデルおよび、OS で “その他” を選択)

##### 3. VMware ESXi デバイスドライバ

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3140105866>

(「PC サーバー/ブレードサーバー (Express5800 シリーズ)」から対象 OS の「デバイスドライバー一覧」を選択)



## ● iLOの再起動を行う場合の注意事項

サーバー起動からOSの起動完了までの間は、iLOの再起動を行わないでください。  
また、システムユーティリティの操作途中も、iLOの再起動を行わないでください。  
該当タイミングでiLOの再起動を行うと、期待しない動作となる場合があります、例えばシステムユーティリティの設定変更途中にiLOの再起動(※)を行うと、装置に記録されているSerial Number、Product IDなどの設定情報を消失することがあります。

<対象となるiLOの再起動の方法>

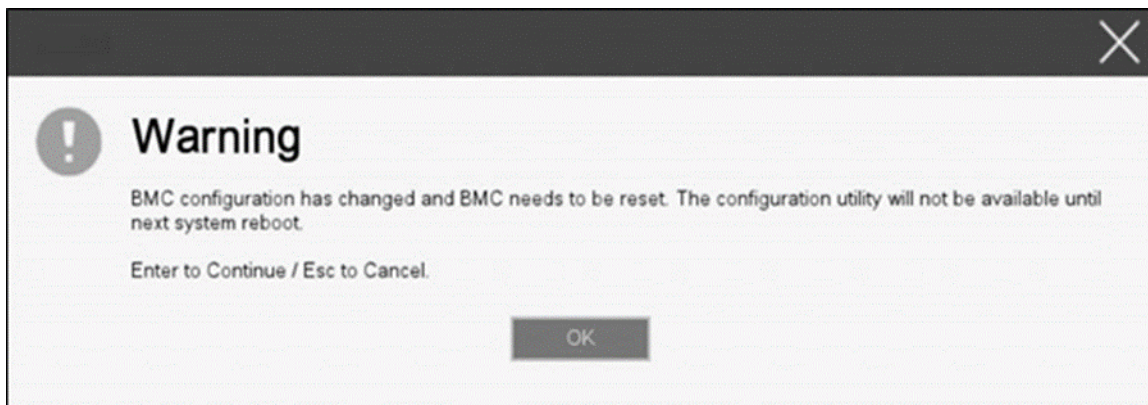
- iLO Webインターフェースなどを利用したネットワーク経由でのiLOの再起動。
- UIDスイッチを使用したiLOの再起動。

※ システムユーティリティの「BMC Configuration Utility」での設定変更後のiLOの再起動については、次項の「システムユーティリティの「BMC Configuration Utility」の操作についての注意事項を参照して操作してください。

## ● システムユーティリティの「BMC Configuration Utility」の操作についての注意事項

iLOの再起動中にPOST実行や設定変更などの処理を進めてしまうと、装置に記録されているSerial Number、Product IDなどの設定情報を消失することがありますので、システムユーティリティの「BMC Configuration Utility」での設定変更においてiLOの再起動を行う場合は、以下の手順で実施してください。

- (1) システムユーティリティの「BMC Configuration Utility」において設定の変更を行うと、iLOの再起動を行うために、次のWarning(注意)ポップアップが表示されることがあります。



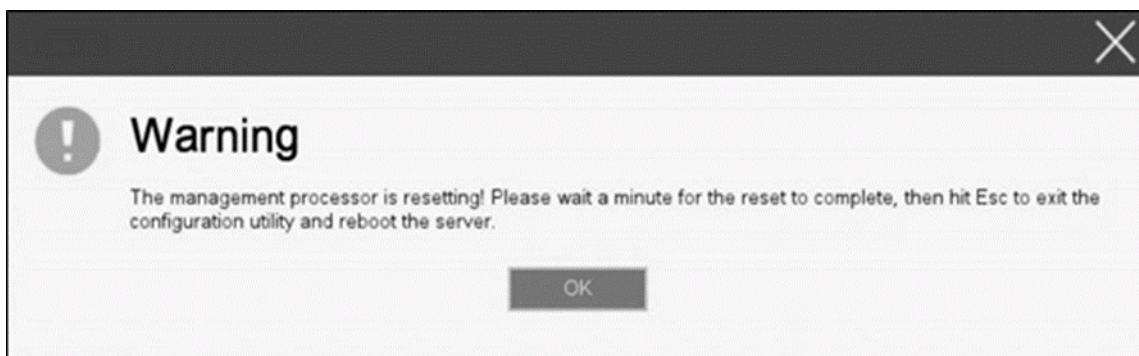
英語表示の場合



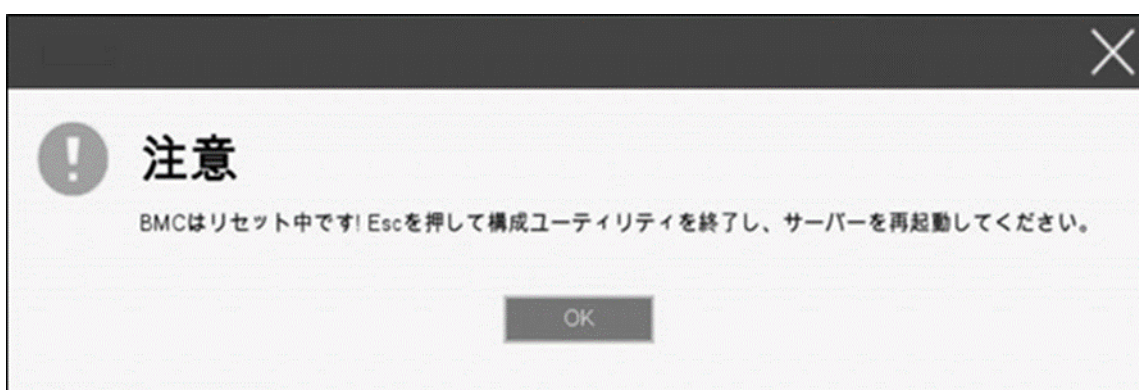
日本語表示の場合

- (2) 「OK」を押して進めます。

(3) 次のWarning(注意)ポップアップの表示になり、iLOの再起動が行われます。



英語表示の場合



日本語表示の場合

(4) このWarning(注意)ポップアップが表示されている状態にて、1分間お待ちください。

(5) iLOの再起動の完了を確認してください。

(6) 再起動の完了が確認できたら、「OK」ボタンを押してください。

(7) <ESC>キーを複数回押してシステムユーティリティの画面に戻ります。

(8) システムユーティリティの「Reboot the System」を選択して再起動します。

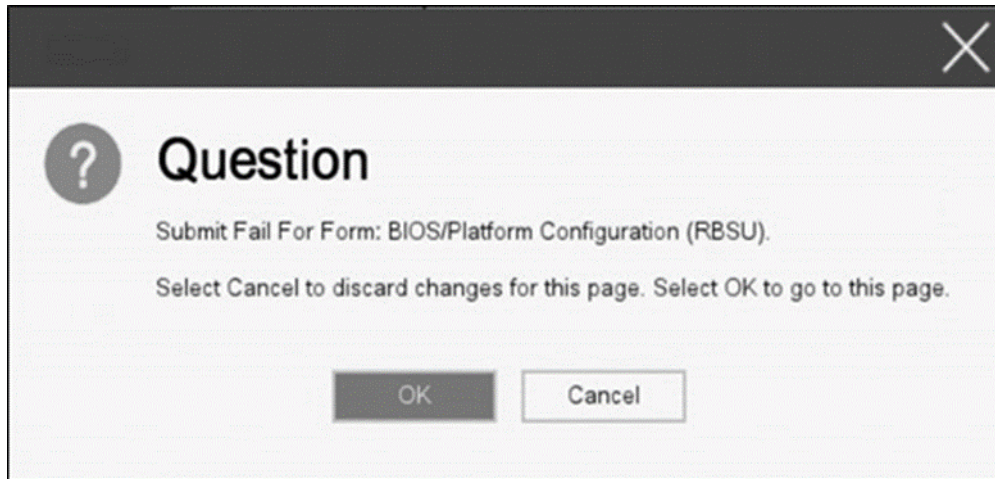
もしiLOの再起動の完了を待たずに先に進めると、装置に記録されているSerial Number、Product IDなどの設定情報を消失することがあります。

なお、iLOの稼働状態は、本製品の本体前面にあるステータスランプから確認いただく事が可能です。ステータスランプが緑色で点滅(毎秒1回)している場合はiLOが再起動中であることを示します。ステータスランプが緑色で常時点灯している場合はiLOの再起動が完了し正常動作していることを示します。

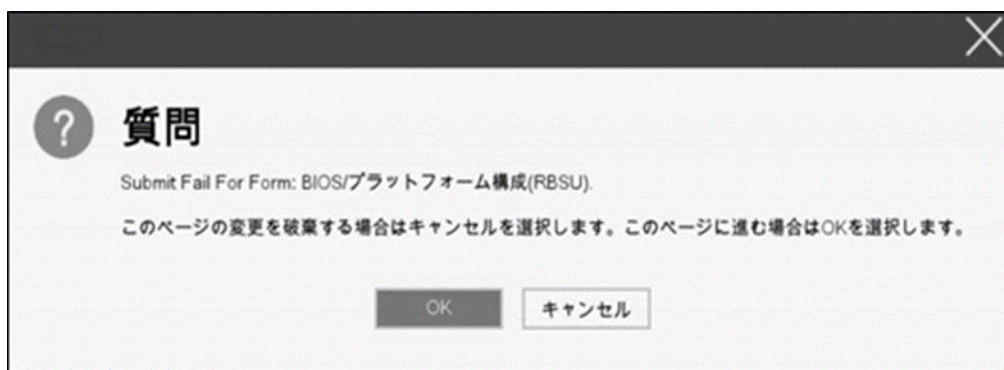
### ● Submit Fail For Form の Question(質問)ポップアップ表示についての注意事項

システムユーティリティにおいて設定の変更中に、次のSubmit Fail For Form の Question(質問)ポップアップが表示された場合は、「キャンセル」を選択して変更を破棄してください。

さらに、サーバーの再起動を行ってシステムユーティリティに入りなおしてから設定の変更を再度行ってください。もし「OK」を押してそのまま設定変更を進めると、装置に記録されているSerial Number、Product IDなどの設定情報を消失することがあります。



英語表示の場合



日本語表示の場合

### ● Serial Number、Product IDが消失してしまった場合の対処について

Serial Number、Product IDが消失してしまった場合、以下の手順にて復旧することができます。

- (1) 装置の電源を切り、電源コードをコンセントから外します。
- (2) 30秒以上経過したのち、電源コードをコンセントに接続します。
- (3) POWERスイッチで装置の電源をONにします。
- (4) サーバーが起動し、POST画面が表示されます。
- (5) <F9>キーを押してシステムユーティリティを起動します。  
もし、システムユーティリティが起動できない状態になっている場合は、メンテナンスガイド、「7.3.3 システム設定をデフォルト値に戻す」を参照し、システムメンテナンススイッチを操作して、RBSU設定の初期化をします。
- (6) システムユーティリティの「System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > Advanced Options > Advanced Service Options」メニューより、Serial NumberとProduct IDの値を確認します。

- (7) Serial NumberとProduct IDの値が期待する値の場合は、手順14)に進みます。
- (8) Serial NumberとProduct IDの値が期待する値ではない（消失している）場合は、システムユーティリティから、「System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > System Default Options」を選択します。
- (9) 「Restore Default Manufacturing Settings」を選択します。
- (10) 「Yes, restore the default settings.」を選択します。
- (11) 自動的に装置が再起動し、POST画面が表示されます。
- (12) <F9>キーを押してシステムユーティリティを起動します。
- (13) 装置のスライドタグに記載されているSerial NumberとProduct IDをシステムユーティリティの「System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > Advanced Options > Advanced Service Options」メニューより、設定します。
- (14) RBSU設定項目をデフォルト値から変更されている場合は、そのRBSU項目の確認と再設定をします。

● 赤文字画面 (RSOD: Red Screen of Death)が表示された場合の対処について

装置の構成変更や設定変更などシステムの状態を変更した場合、OS起動前に稀に赤文字画面 (RSOD)が表示され、本製品の操作が出来なくなることがあります。構成変更や設定変更に伴う一過性の事象の場合があり電源OFF/ONによって回復します。

赤文字画面 (RSOD)が表示された場合、装置の電源OFF/ONをお願いします。  
 なお、問題が解決しないときは、保守サービス会社にお問い合わせください。

```

X64 Exception Type 0D - General Protection Exception

RCX=AF000000AF000000  DX=0000000000000000  RB=0000000000000000  R9=FFFFFFFFFFFFFFFF
RSP=000000009CDEB6E8  BP=000000009A251FBE  AX=0000000098A45EAB  BX=0000000000000000
R10=0000000000000004  I1=FFFFFFFFFFFFFFFF  I2=0000000000000000  I3=000000009A251F00
R14=0000000000000010  I5=000000009A251F00  SI=AF000000AF000000  DI=AF000000AF000000
CR2=0000000000000000  CR3=000000009CD4B000  CR0=00000013  CR4=00000668  CR8=00000000
CS=00000030  DS=00000030  SS=00000030  ES=00000030  RFLAGS=00010282
MSR: 0x1D9 = 00004801, 0x345=000033C5, 0x1C9=0000001F

LBRs From To From To
01h 0000000098A2E792->00000000961F2191 0000000098A2EBFE->0000000098A2E778
03h 0000000098A3CD97->0000000098A2EBE0 0000000098A36D00->0000000098A3CD75
05h 0000000098A30855->0000000098A36CDF 0000000098A307F3->0000000098A3083E
07h 0000000098A30759->0000000098A307ED 000000009CDF51A8->0000000098A30744
09h 000000009CDF5183->000000009CDF519B 000000009CDF516A->000000009CDF517D
0Bh 000000009CDF514F->000000009CDF515B 000000009CDF6ECF->000000009CDF5136
0Dh 000000009CDF6CFC->000000009CDF6EC3 0000000099891CA4->000000009CDF6CF8
0Fh 0000000099891331->0000000099891C9E 0000000099891C59->0000000099891330

CALL ImageBase ImageName+Offset
00h 0000000098A2D000 PlatformRecoveryApp+001792h
address out of range
  
```

赤文字画面の例

## ● システムユーティリティの表示について

1. BMC Configuration Utility 配下のメニューの変更権限については、BMC Configuration Utility > Setting Option > Require user login and configuration privilege for BMC Configurationを有効にすることで保護してください。  
BIOS/Platform configuration(RBSU) > Server Security > Set Admin Passwordの設定では保護されません。
2. System Information > Processor Informationで表示されるL2 Cache、L3 Cacheの Maximum Size、Installed Sizeは1MBを1024000バイトに換算した数値で表示されます。

## ● EXPRESSBUILDERでのWindows「手動」インストールについて

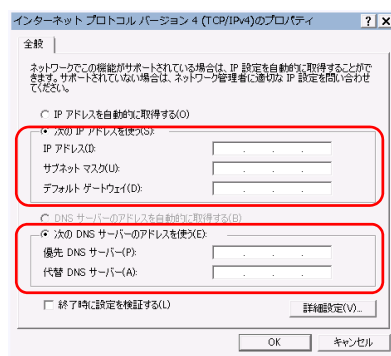
EXPRESSBUILDER から Windows をインストールするとき、「手動」オプションを選択した場合であっても、インストール先ディスクのパーティションがすべてクリアされます。再インストール時、ユーザーデータが存在する場合は注意してください。

## ● Windows Server2012 R2/2016環境構築後、CPUボードの構成変更を行う場合の注意事項

- 1) 次のOptionに固定IPアドレス/固定DNSを設定している場合、以下の手順で増設CPUボードを増設してください(CPU増設後も固定IPアドレス設定を引き継ぐために本手順が必要です)。

N8104-182 10GBASE-T 接続ボード (2ch)  
N8104-183 10GBASE-T 接続ボード (2ch)  
N8104-185 10GBASE 接続基本ボード (SFP+/2ch)  
N8104-187 25GBASE 接続基本ボード (SFP28/2ch)  
PCI-to-PCIブリッジを持つ増設PCIカード

- a) 該当のオプションを参照するサービスが自動起動しないように設定を変更し、サービスを停止する。また、該当のオプションにストレージを接続している場合、以下の作業前に該当のオプションからLANケーブルを外す等ストレージを認識しないようにする。
- b) 該当のオプションでLANのチーミング設定をしている場合、チーミングを解除する。
- c) 該当のオプションのIPアドレス/サブネットマスク/デフォルトゲートウェイ/優先DNSサーバー/代替DNSサーバーを記録する(下記の赤字部分)。



- d) 該当のオプションのIPアドレスを「IPアドレスを自動的に取得する」、DNSアドレスを「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」に設定変更する。
- e) 増設CPUボードをユーザーズガイドに従って増設する。
- f) 該当のオプションに手順c)で記録したIPアドレス/サブネットマスク/デフォルトゲートウェイ/優先DNSサーバー/代替DNSサーバーを設定する。
- g) LANのチーミングを再設定する。
- h) 手順a)で設定変更したサービスを自動起動するように再設定する。また、該当のオプションにストレージを接続していた場合、LANケーブルを再接続しストレージを認識できるようにする。



上記手順で行わなかった場合、固定IPアドレスが他のデバイスで使用されている等のメッセージが表示されて固定IPアドレスが設定できないことがあります。

その場合、以下のコマンドをコマンドプロンプトで実行して、デバイスマネージャを起動してください。その後、[表示] - [非表示デバイスの表示] をクリックし、ネットワークアダプターツリーを展開し、グレー表示になっている未使用のデバイスを削除してください。

```
>set devmgr_show_nonpresent_devices=1
>Start DEVMGMT.MSC
```

ESMPRO/ServerManagerでネットワークを参照した場合、増設CPUボードの構成変更後にネットワークカードが重複して表示されます。OS上で見えないネットワークデバイスの詳細は「Unknown」と表示されますので、無視してください。

## ● Windows Server 2016 の運用における注意

Windows Server 2016 運用において次のイベントログが登録される場合があります。また、それに伴いディスプレイの解像度が、低解像度へ切り替わる場合があります。

<イベントログ>

日付 : 2017/06/08 20:32

ID : 4113

ソース : Display

レベル : 警告

説明 : ディスプレイ ドライバー MxG2hD064 が応答を停止し、正常に無効化されました。

この状態となった場合、解像度の変更はできない状態となりますが、それ以外の機能は正常に動作します。復旧には、再起動が必要ですが、同様の事象を繰り返す場合は、Matrox GA ドライバを無効に設定しての運用をお願いします。

## ● ESMPRO/ServerManager (Windows版) およびエクスプレス通報サービス (MG) に関する注意事項

本製品の iLO ファームウェアバージョンと、ESMPRO/ServerManager (Windows 版) およびエクスプレス通報サービス (MG) のバージョンの組み合わせによっては ESMPRO/ServerManager (Windows 版) および iLO 管理機能向けの受信情報設定ファイルのアップデートが必要になる場合があります。以下をご参照のうえ、アップデートが必要な場合は、最新バージョンにアップデートしてください。

各バージョンの確認方法については、本注意事項の末尾に記載します。

### ◆ ESMPRO/ServerManager (Windows 版) に関する発生現象

iLO ファームウェア	ESMPRO/ ServerManager (Windows 版)	発生現象
Version 1.30 以上	Version 6.25 未満	<ul style="list-style-type: none"> <li>構成タブ - サーバー状態 "SNMP 通報設定" が "取得に失敗しました" と表示される</li> <li>リモート制御タブ - iLO 情報 - IML の表示、IML の保存 IML 情報の取得に失敗し、表示および保存ができない</li> <li>アラートビューア ファームウェアアップデートにともない追加されたハードウェアの障害がアラートビューアに "不明タイプ" のアラートとして表示される</li> </ul>
	Version 6.31 未満	<ul style="list-style-type: none"> <li>アラートビューア ファームウェアアップデートにともない追加されたハードウェアの障害がアラートビューアに表示されない、もしくは "不明タイプ" のアラートとして表示される</li> </ul>

◆ESMPRO/ServerManager (Windows 版) のアップデート方法

(1) 以下より最新版の ESMPRO/ServerManager をダウンロードします。  
<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010103524>

(2) 「ESMPRO/ServerManager Ver.6 インストレーションガイド(Windows 編)」の「2章 インストール」を参照して ESMPRO/ServerManager をアップデートします。

◆iLO 管理機能向けの受信情報設定ファイル に関する発生現象

※エクスプレス通報サービス (MG) をご利用されている方が対象です。

iLO ファームウェア	iLO 管理機能向けの 受信情報設定 ファイル	発生現象
Version 1.30 以上	ilo_jp.mtb Version 1.1.0 未満  iml_jp.mtb Version 1.1.0 未満  ※iLO 管理機能向け の受信情報設定 ファイルは2種類 あります。	ファームウェアアップデートにともない追加されたハードウェアの障害を検知することができない。当該障害を通報することができない。 ※受信情報設定ファイルをアップデートした場合であっても、ESMPRO/ServerManager がアップデートされていないときは、上記と同様に追加されたハードウェア障害の検知および通報ができない。

◆iLO 管理機能向けの受信情報設定ファイルのアップデート方法

(1) 以下より最新版の受信情報設定ファイル(ilo\_jp.mtb、iml\_jp.mtd)をダウンロードします。  
<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010100096>  
 ilo\_jp.mtb、iml\_jp.mtd は MGMTB.zip に包含しています。

(2) 「エクスプレス通報サービス (MG) インストレーションガイド(Windows 編)」の「3.1.5 受信情報の設定」または「3.2.4 受信情報の設定」を参照して受信情報の設定画面で登録済みの受信情報を削除します。

(3) (1) でダウンロードした最新版の受信情報設定ファイルを登録します。

「エクスプレス通報サービス (MG) インストレーションガイド」は以下の URL からダウンロードしてください。  
<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010102124>

◆iLO ファームウェアのバージョン確認方法

・ Server Health Summary で確認する方法

サーバー本体の UID ボタンを押下して、サーバーに接続されたコンソールに表示される iLO Firmware のバージョンを確認します (Server Health Summary の詳細は iLO 5 ユーザーズガイド参照)。

・ ネットワーク経由で確認する方法

iLO にネットワーク接続可能な場合、ブラウザから iLO にログインして、メニュー「ファームウェア & OS ソフトウェア」から iLO のバージョンを確認します。

◆ESMPRO/ServerManager (Windows 版) のバージョン確認方法

- (1) ESMPRO/ServerManager の WEB にログインします。
- (2) 画面右上の「ESMPRO/ServerManager について」のリンクを選択します。
- (3) 表示される ESMPRO/ServerManager のバージョン情報を確認します。

◆iLO 管理機能向けの受信情報設定ファイルのバージョン確認方法

「エクスプレス通報サービス (MG) インストレーションガイド(Windows 編)」の「3.1.5 受信情報の設定」または「3.2.4 受信情報の設定」を参照して受信情報の設定画面で「詳細情報」が「iLO SNMP Trap」のバージョンを確認します。



## ● VMware ESXiを使用する場合の注意事項

VMware vSphereの監視 > ハードウェア > センサーにおいて、下記のような Heartbeat Lost センサーの警告表示がなされますが、運用上、問題ありません。

[Device] I/O Module (n) LOM\_Link\_P(n) : Heartbeat Lost-Assert

[Device] I/O Module (n) NIC\_Link\_P(n) : Heartbeat Lost-Assert ※n : LAN ポート番号の P1~4 を示す

## ● VMware ESXi 6.0 の運用における注意

VMware ESXi 6.0 を活用する場合は、VMware ESXi 6.0 が規定する LAN のポート数の上限に抵触するため、OS をインストールする前に、以下のシステムユーティリティの項目を使用して内蔵 LAN を Disabled に設定してください。

System Utilities (F9) > System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > PCIe Device Configuration > Embedded LOM1:HPE Ethernet 1Gb 4-port 369i Adapter > PCIe Device Disable [Auto] -> [Disabled]

## ● Linux OSを使用する場合の注意事項

OSが自動的に認識する LOM や オプション NIC のデバイス名を使用してください。独自 udev ルールを追加する際、PCI アドレスを基準に NIC デバイス名を変更したり、固定したりする設定は行わないでください。また、PCI アドレスを含む /dev/disk/by-path/ 配下のストレージデバイス名は使用しないでください。

PCI アドレスを基準にしたデバイス名を使った運用が必要な場合は、PCI スロットへのカード増設/抜去、および、CPU 構成変更を行わないでください。PCI バスのアドレス情報が変化し、PCI 接続のデバイス名に影響がでることにより、ネットワークやストレージへのアクセスができなくなり、システムが正常に起動できなくなる場合があります。

## ● 工場出荷時の設定について

以下の項目については、工場出荷時に以下のように設定しています。

1. System Utilities (F9) > System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > Workload Profile : Custom
2. System Utilities (F9) > System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > Power and Performance Options > Minimum Processor Idle Power Core C-State: No C-states
3. System Utilities (F9) > System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > Power and Performance Options > Minimum Processor Idle Power Package C-State: No Package States

## ● UPS接続時の注意事項

UPS をシリアルポートに接続して使用する場合は、以下の設定を無効「Disabled」にしてください。

1. System Utilities (F9) > System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > System Options > Serial Port Options > BIOS Serial Console and EMS > BIOS Serial Console Port [Auto] -> [Disabled]
2. System Utilities (F9) > System Configuration > BMC Configuration Utility > Setting Options > Serial CLI Status [Enabled - Authentication Require] -> [Disabled]

## ● N8103-184 SASコントローラ使用時の注意事項

N8103-184 SAS コントローラを本製品でご使用になる場合は、下記の条件を必ず満たす必要があります。

- ・ N8181-169 冗長ファンキットを搭載してください。
- ・ N8103-184 SAS コントローラは最大3枚まで搭載可能です。  
ただし、iStorage M シリーズ接続用には2枚まで搭載可能です。
- ・ N8103-184 SAS コントローラの搭載可能スロットは、PCI スロット 1, 3, 5, 6, 7, 8 のみとなります。  
ただし、PCI スロット 1 に搭載する場合には、PCI スロット 2 と 4 に PCI カードを搭載しないでください。  
また、PCI スロット 3 に搭載する場合にも PCI スロット 2 と 4 に PCI カードを搭載しないでください。
- ・ システムユーティリティより下記設定してください。

System Utilities (F9) > System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > Advance Options > Fan and Thermal Options > Thermal Configuration 内の [Optimal Cooling] -> [Increased Cooling]

## ● 128GB増設メモリボード (N8102-713) 搭載時の注意事項

本サーバーは RDIMM (N8102-708, 709, 710, 711) と LRDIMM (N8102-712) と 3DS LRDIMM (本 DIMM) との混在はできません。いずれかの組み合わせで混在させると、POST 中にサーバーが停止する場合がありますため、各メモリグループでメモリを構成してください。

例: RDIMM 同士のみメモリ構成。LRDIMM のみメモリ構成。3DS LRDIMM のみメモリ構成。

また、本サーバーは、128GB LRDIMM (N8102-713) を 1CPU あたり 7枚以上 (768GB を超えるメモリを) 搭載するには、CPU 名称の末尾に M が付く CPU (N8101-1451~1464) である必要があります。


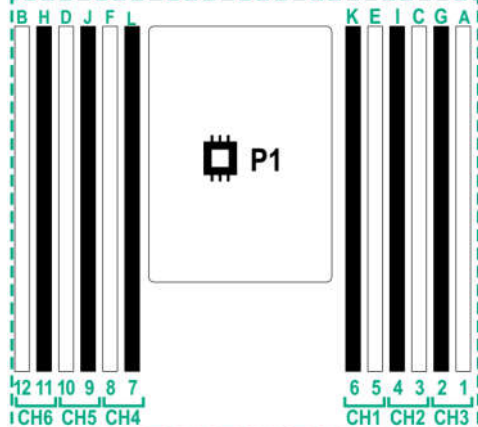
詳細は本装置 (T120h) のシステム構成ガイドを参照してください。

## ● EXPRESSBUILDERヘルプについて

EXPRESSBUILDER のヘルプとメンテナンスガイドで記述が異なる場合は、メンテナンスガイドの方を優先してください。

● Express5800/T120h ユーザーズガイドについて

ユーザーズガイドに誤記がありましたので、以下に訂正いたします。

	誤	正
P. 25 3. 特長	・最大1.5TBの大容量メモリ*6	・最大3.0TBの大容量メモリ*6
P. 26 3. 特長	*6 : 2CPU構成時。1CPU構成時は最大768GB 最大1.5TBサポートするCPUはGold 6100M シリーズと Platinum 8100M シリーズのみ	*6 : 2CPU構成時。1CPU構成時は最大1.5TB 最大3.0TBサポートするCPUはGold 6100M シリーズと Platinum 8100M シリーズのみ
P. 31 5.3 背面	③ ディスプレイポート ディスプレイポートの動作は、N8005-1007 DP-VGA変換コネクタにて確認していますが、お客様で十分検証の上、活用ください。	③ ディスプレイポート サポートしていません。
p35 5.5.2 DIMMスロット  P1 DIMMスロット番号		
P. 57 1.6 TPMキット	本書の「1.6.1 TPMキットの取り付け手順」に従って、本機にTPM(Trusted Platform Module)キットを取り付けてください。	本書の「1.6.1 N8115-35 TPMキットの取り付け手順」に従って、本機にTPM(Trusted Platform Module)キットを取り付けてください。
P. 79 1.11 DIMM (ヒント)	DIMM は2CPU 構成時で最大1,536GB(64GB x 24 枚)まで、1CPU 構成時で最大768GB(64GB x 12 枚)まで増設できます。	DIMM は2CPU 構成時で最大3,072GB(128GB x 24 枚)まで、1CPU 構成時で最大1,536GB(128GB x 12 枚)まで増設できます。
P. 80 1.11.1 サポートする最大DIMM容量(表内)	1.5TB (5箇所)	3.0TB (5箇所)
P. 86 (1) メモリミラーリング機能	システムユーティリティから、「System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > System Options > Memory Operations > Advanced Memory Protection」を「Mirrored Memory with Advanced ECC Support」に設定してください。	システムユーティリティから、「System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > Memory Options > Advanced Memory Protection」を「Mirrored Memory with Advanced ECC Support」に設定してください。
P. 88 (2) メモリスペアリング機能	システムユーティリティから、「System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > System Options > Memory Operations > Advanced Memory Protection」を「Online Spare with Advanced ECC Support」に設定してください。	システムユーティリティから、「System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > Memory Options > Advanced Memory Protection」を「Online Spare with Advanced ECC Support」に設定してください。
P. 90 (3) メモリADDDC機能	システムユーティリティから、「System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > System Options > Memory Operations > Advanced Memory Protection」を「Fault Tolerant Memory (ADDDC)」に設定してください。	システムユーティリティから、「System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > Memory Options > Advanced Memory Protection」を「Fault Tolerant Memory (ADDDC)」に設定してください。

	誤	正																																																				
P. 90 (3) メモリADDDC機能 (チェック)	●メモリADDDC 機能が使用可能なDIMM は「N8102-709」、「N8102-711」、「N8102-712」です。	●メモリADDDC 機能が使用可能なDIMM は「N8102-709/711/712/713」です。																																																				
P. 140 1. 21. 2 N8103-198増設 バッテリーの標準 環境での取り付け	1. 21. 2 N8103-198増設バッテリーの標準 環境での取り付け	1. 21. 2 N8103-203増設バッテリーの標準 環境での取り付け																																																				
P. 143 1. 22. 1 内蔵ドライブ DVD-ROM N8151-137 / DVD-Super MULTI N8151-138の取り付け	●T-10 のヘキサロビュラドライバー ●光ディスクドライブケーブルキット (K410-375(00))	●T-15 のヘキサロビュラドライバー ●内蔵DVD搭載キット (N8154-122)																																																				
P. 145 1. 22. 1 内蔵ドライブ DVD-ROM N8151-137 / DVD-Super MULTI N8151-138の取り付け	7. 光ディスクドライブのコネクタと マザーボードのオンボードSATA ポート5 コネクタを、光ディスクドライブ用SATA ケーブル (K410-375(00))で接続します。 ケーブルは下図のように配線して ください。	7. 光ディスクドライブのコネクタと マザーボードのオンボードSATA ポート5 コネクタを、内蔵DVD搭載キット (N8154- 122)のSATA ケーブルで接続します。 ケーブルは下図のように配線して ください。																																																				
P. 147 1. 23. 1 RAIDシステム 構築時の注意事項	オプションのRAID コントローラ (N8103- 189/195)を使用する場合、RAID 5、RAID 6、 RAID 50、RAID 60 のRAID システムは構築 できません。 <table border="1" data-bbox="443 949 919 1346"> <thead> <tr> <th rowspan="2">RAIDレベル</th> <th colspan="2">RAIDシステム構築に必要な ハードディスクドライブの最小数</th> </tr> <tr> <th>N8103-189/195</th> <th>N8103- 190/191/196/201</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>RAID 0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>RAID 1</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>RAID 5</td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>RAID 6</td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>RAID 10</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>RAID 50</td> <td></td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>RAID 60</td> <td></td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>	RAIDレベル	RAIDシステム構築に必要な ハードディスクドライブの最小数		N8103-189/195	N8103- 190/191/196/201	RAID 0	1	1	RAID 1	2	2	RAID 5		3	RAID 6		3	RAID 10	4	4	RAID 50		6	RAID 60		6	オプションのRAID コントローラ (N8103- 189/195)を使用する場合、RAID 6、RAID 50、 RAID 60 のRAID システムは構築 できません。 <table border="1" data-bbox="951 949 1426 1346"> <thead> <tr> <th rowspan="2">RAIDレベル</th> <th colspan="2">RAIDシステム構築に必要な ハードディスクドライブの最小数</th> </tr> <tr> <th>N8103-189/195</th> <th>N8103- 190/191/196/201</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>RAID 0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>RAID 1</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>RAID 5</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>RAID 6</td> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>RAID 10</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>RAID 50</td> <td></td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>RAID 60</td> <td></td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table>	RAIDレベル	RAIDシステム構築に必要な ハードディスクドライブの最小数		N8103-189/195	N8103- 190/191/196/201	RAID 0	1	1	RAID 1	2	2	RAID 5	3	3	RAID 6		4	RAID 10	4	4	RAID 50		6	RAID 60		8
RAIDレベル	RAIDシステム構築に必要な ハードディスクドライブの最小数																																																					
	N8103-189/195	N8103- 190/191/196/201																																																				
RAID 0	1	1																																																				
RAID 1	2	2																																																				
RAID 5		3																																																				
RAID 6		3																																																				
RAID 10	4	4																																																				
RAID 50		6																																																				
RAID 60		6																																																				
RAIDレベル	RAIDシステム構築に必要な ハードディスクドライブの最小数																																																					
	N8103-189/195	N8103- 190/191/196/201																																																				
RAID 0	1	1																																																				
RAID 1	2	2																																																				
RAID 5	3	3																																																				
RAID 6		4																																																				
RAID 10	4	4																																																				
RAID 50		6																																																				
RAID 60		8																																																				
P. 184 2. 2. 1 無停電電源装置 (UPS) への接続に ついて	[System Configurtaion > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > System Options > Server Availability > Automatic Power- On ]で設定することができます。	[System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > System Options > Server Availability > Automatic Power- On ]で設定することができます。																																																				
P. 201 2. 5. 3 システム設定 のリストア方法	4. <b>tyeps</b> コマンドを実行して、先頭に” Bios” と表示されるパラメーターを確認 します。	4. <b>types</b> コマンドを実行して、先頭に” Bios” と表示されるパラメーターを確認 します。																																																				
P. 212 4章 1. 仕様の表 (メモリ:搭載容量 標準/最大)	標準搭載なし(セレクトラブルオプション) / Registered DIMM : 768GB (24x 32GB), Load Reduced DIMM : 1.5TB (24x 64GB)	標準搭載なし(セレクトラブルオプション) / Registered DIMM : 768GB (24x 32GB), Load Reduced DIMM : 3.0TB (24x 128GB)																																																				
P. 212 4章 1. 仕様の表 (メモリ:搭載メモリ)	DDR4-2666 Registered DIMM (8/16/32GB), DDR4-2666 Load Reduced DIMM (64GB)	DDR4-2666 Registered DIMM (8/16/32GB), DDR4-2666 Load Reduced DIMM (64/128GB)																																																				
P. 212 4章 1. 仕様の表 (補助記憶装置: ハードディスク ドライブ: 内蔵最大)	SATA 92.16GB(24x3.84TB)	SATA 92.16TB(24x3.84TB)																																																				

	誤	正
P. 212 4章 1. 仕様の表 (電源) ※N8181-159, 160の 差異部分のみ記載	標準搭載なし(セレクトラブルオプション), AC 電源ユニット(N8181-159, 160) 500W/800W 80 PLUS® Platinum 取得電源 (二極 並行アース付きコンセント) (ホットプラグ可) (最大: 2) AC100-120V/200-240V ± 10%, 50/60Hz ± 3Hz(電源ケーブルは必須選択オプション)	標準搭載なし(セレクトラブルオプション), AC 電源ユニット(N8181-159) 500W 80 PLUS® Platinum 取得電源(二極 並行アース付きコンセント) (ホット プラグ可) (最大: 2) AC100-240V ± 10%, 50/60Hz ± 3Hz(電源 ケーブルは必須選択オプション) AC 電源ユニット(N8181-160) 800W 80 PLUS® Platinum 取得電源(二極 並行アース付きコンセント) (ホット プラグ可) (最大: 2) AC100-240V ± 10%, 50/60Hz ± 3Hz(電源 ケーブルは必須選択オプション)

● Express5800/T120h インストールガイド (Windows編) について

インストールガイドに誤記がありましたので、以下に訂正いたします。

	誤	正
P. 17 3.1 インストール前 の確認事項(2箇所)	詳細はメンテナンスガイドの「2章(1.1 システムユーティリティ)」を参照して ください。	詳細はメンテナンスガイドの「2章(1. システムユーティリティ)」を参照して ください。
P. 68 4.1 インストール前 の確認事項(2箇所)	詳細はメンテナンスガイドの「2章(1.1 システムユーティリティ)」を参照して ください。	詳細はメンテナンスガイドの「2章(1. システムユーティリティ)」を参照して ください。
P. 79 4.3.1 セットアップ の流れ	4.8 Windows Server 2016 NICチーミング (LBFO)の設定	4.8 Windows Server 2012 R2 NICチーミン グ(LBFO)の設定
P. 89 4.4.1 セットアップ の流れ	4.8 Windows Server 2016 NICチーミング (LBFO)の設定	4.8 Windows Server 2012 R2 NICチーミン グ(LBFO)の設定

● Express5800/T120h メンテナンスガイドについて

メンテナンスガイドに誤記がありましたので、以下に訂正いたします。

	誤	正
P. 16 1. 移動と保管 (チェック)	本機を保管するときは、保管環境条件(温度：-10℃～55℃、湿度：20%～80%、ただし、結露しないこと)を守ってください。	本機を保管するときは、保管環境条件(温度：-30℃～60℃、湿度：5%～95%、ただし、結露しないこと)を守ってください。
P. 39 5.6 内蔵デバイス、 その他ハードウェア 使用時のトラブル	[?] SmartDriveアイコンまたはランプによって間違ったドライブに関するエラーが示されるか、POST、SSA、またはSADUCLIでエラーメッセージが表示される。	[?] SmartDriveアイコンまたはランプによって間違ったドライブに関するエラーが示されるか、POST、SSA、またはSSADUCLIでエラーメッセージが表示される。
P. 58 7.3.2 システム メンテナンス スイッチの操作	2. 本機に添付の「ユーザーズガイド」の「2章(1.2. 取り付け/取り外しの概要)」を参照し、 <b>トップカバー</b> を取り外します。	2. 本機に添付の「ユーザーズガイド」の「2章(1.2. 取り付け/取り外しの概要)」を参照し、 <b>サイドカバー</b> を取り外します。
P. 70 Internal SD Card Slot	[Enabled] 本オプション設定は現在サポートされておりません。本装置では、このオプションに対応するデバイスをサポートしておりません。この項目は出荷時の設定から変更しないで下さい。	[Disabled] 本オプション設定は現在サポートされておりません。本装置では、このオプションに対応するデバイスをサポートしておりません。 <b>工場出荷時に、ユーザーデフォルト設定として、本オプションをDisabledに設定しています。</b> この項目は出荷時の設定から変更しないでください。
P. 86 (c) iSCSI Configuration(4箇所)	iSCSI Boot Configuration	iSCSI Configuration
P. 87 i. (UEFI LAN Driver) メニュー -Target Name	例： iqn.2015-02.com.nec:iscsitarget-iscsidisk-target。	例： iqn.2015-02.com.nec:iscsitarget-iscsidisk-target
P97 (e) Advanced Power Options メニュー -Redundant Power Supply Mode	システムによる電源の冗長構成の処理方法を設定するには、このオプションを使用します。 「Balanced Mode」では、搭載されている <b>すべての無停電電源装置(UPS)間で電源供給を等しく共有します。</b> <b>すべての「HighEfficiency Mode」パラメーターは、スタンバイモードのUPSの半分を低消費電力レベルに保つことで、電源効率の高い動作のほとんどに冗長化電源を提供します。</b> 「High Efficiency Mode」のパラメーターでは、スタンバイにするUPSをシステムが選択することを可能にします。 「Auto」では、システムグループ内のセミランダムな分布に基づいて奇数または偶数のUPSをシステムが選択することを可能にします。	システムの電源冗長構成の効率モードの設定を行うには、本オプションを使用します。 「Balanced Mode」では、搭載されている <b>全て(本モデルは最大2台)の電源間で電源供給を等しく共有します。</b> 「High Efficiency Mode」では、搭載されている片側の電源をスタンバイモードにすることにより、低消費電力レベルを保ち、冗長化電源の効率を向上させます。 「High Efficiency Mode」は、スタンバイモードに設定する電源を電源ユニット番号の「奇数(Odd Supply Standard)」、「偶数(Even Supply Standard)」を選択することで指定することができます。 「Auto」設定では、システムグループ内のセミランダムな分布に基づいて、システムが電源ユニット番号の「奇数」、「偶数」を自動で指定します。
P. 106 (b) TLS (HTTPS) Options メニュー	Advanced <b>Secure</b> Settings	Advanced <b>Security</b> Settings
P. 107 ①Advanced Secure Settings メニュー	Advanced <b>Secure</b> Settings	Advanced <b>Security</b> Settings

## ■ ファームウェア更新に伴う変更点

本製品の搭載ファームウェアの更新に伴い、メニューの一部に変更があります。  
下記、変更点を記載します。

### (1) Diagnostics Options メニュー

システムユーティリティから、「System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > System Options > Diagnostics Options」を選択すると、「Diagnostics Options」メニューが表示されます。  
追加のオプションについて、次の表を参照してください。

項目	パラメーター	説明
Embedded Diagnostics	[Enabled] Disabled	本機ではサポートされません。

[ ]: 出荷時の設定

### (2) Memory Options メニュー

システムユーティリティから、「System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > Memory Options」を選択すると、「Memory Options」メニューが表示されます。  
追加のオプションについて、次の表を参照してください。

項目	パラメーター	説明
Memory Controller Interleaving	[Auto] Disabled	メモリコントローラー間のインターリーブ動作を選択します。 「Auto」を選択した場合、メモリコントローラー間のインターリーブ動作は本機のメモリ構成に応じて自動的に設定されます。 「Disabled」を設定した場合、メモリコントローラー間のインターリーブ動作は強制的に無効に設定されます。 本オプションは、「Auto」で利用することを推奨します。
Opportunistic Self-Refresh	[Disabled] Enabled	「Opportunistic Self-Refresh」を「Enabled」に設定した場合、メモリがアイドル状態になった場合にメモリのセルフリフレッシュを行います。 [Disabled] の場合は通常のリフレッシュを行います。

[ ]: 出荷時の設定

### (3) Intel UPI Optionsサブメニュー

システムユーティリティから、「System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > Power and Performance Options > Intel UPI Options」を選択すると、「Intel UPI Options」メニューが表示されます。  
追加のオプションについて、次の表を参照してください。

項目	パラメーター	説明
Direct To UPI (D2K)	[Auto] Enabled Disabled	「Direct To UPI (D2K)」を「Enabled」にすると、Last Level Cacheのキャッシュミスによるレイテンシーを軽減します。指定されない限り、設定変更しないでください。 複数プロセッサ構成の場合のみ表示されます。

[ ]: 出荷時の設定

(4) Advanced Performance Tuning Options サブメニュー

システムユーティリティから、「System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > Power and Performance Options > Advanced Performance Tuning Options」を選択すると、「Advanced Performance Tuning Options」メニューが表示されます。

追加のオプションについて、次の表を参照してください。

項目	パラメーター	説明
Processor Jitter Control Optimization	Optimized for Throughput Optimized for Latency [Zero Latency]	本オプションは指定ある場合をのぞいて、出荷時設定から変更しないでください。 このオプションは、プロセッサ周波数変動の自動調整機能の閾値を最適化します。「Optimized for Throughput」を選択すると、総合的な計算処理能力に影響しない変動を許容した制御をします。 「Optimized for Latency」を選択すると、プロセッサ周波数を下げるときに微小変動があることを許容した制御をします。 「Zero Latency」を選択すると、周波数変動を取り除くように制御します。

[ ]: 出荷時の設定

(5) PCIe Devices Configuration サブメニュー

システムユーティリティから、「System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > PCIe Devices Configuration」を選択すると、「PCIe Devices Configuration」メニューが表示されます。

追加のオプションについて、次の表を参照してください。

項目	パラメーター	説明
Advanced PCIe Configuration	-	-

[ ]: 出荷時の設定

(a) Advanced PCIe Configuration サブメニュー

システムユーティリティから、「System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > PCIe Devices Configuration > Advanced PCIe Configuration」を選択すると、「Advanced PCIe Configuration」メニューが表示されます。

追加のオプションについて、次の表を参照してください。

項目	パラメーター	説明
PCIe Bifurcation Options	-	-

[ ]: 出荷時の設定

① PCIe Bifurcation Options サブメニュー

システムユーティリティから、「System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > PCIe Devices Configuration > Advanced PCIe Configuration > PCIe Bifurcation Options」を選択すると、「PCIe Bifurcation Options」メニューが表示されます。

追加のオプションについて、次の表を参照してください。

項目	パラメーター	説明
PCIe Slot XX Bifurcation	[Auto] Slot Bifurcated	PCIe Slotに実装するPCIe拡張カードがSlot Bifurcation機能をサポートする場合、必要に応じて「Slot Bifurcated」を設定してください。 「Auto」を設定すると、PCIe Slotは、サポートされる最大幅で接続されます。 「Slot Bifurcated」を設定すると、PCIe Slotと拡張カード間の接続が、2個に分割されます。 XX: 1/2/3... (CPU数やライザーカード種類に応じて表示が変わります。)

[ ]: 出荷時の設定



(6) Fan and Thermal Options サブメニュー

システムユーティリティから、「System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > Advanced Options > Fan and Thermal Options」を選択すると、「Fan and Thermal Options」メニューが表示されます。オプションのパラメーター追加について、次の表を参照してください。

項目	パラメーター	説明
Thermal Configuration	[Optimal Cooling] Increased Cooling Maximum Cooling Enhanced CPU Cooling	本機のファン冷却方法を選択します。 「Optimal Cooling」は、適切な冷却を可能にする必要最小限のファン速度に設定することで、最も効率的な冷却方法を実現します。 「Increased Cooling」ではファンを高速で回転させ、冷却能力を高めます。「Increased Cooling」は、他社製のストレージコントローラーが内蔵ハードドライブケースにケーブル接続されている場合、または本機の高温の問題を他の方法で解決できない場合に使用します。 「Maximum Cooling」は、ファンを最高速で回転させ、最も高い冷却方法を実現します。 「Enhanced CPU Cooling」は、プロセッサの冷却をより強化します。プロセッサに負荷のかかるワークロードを実行する場合、プロセッサの冷却強化により、パフォーマンスが改善する場合があります。

[ ]: 出荷時の設定

(7) Advanced Debug Options サブメニュー

システムユーティリティから、「System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > Advanced Options > Advanced Debug Options」を選択すると、「Advanced Debug Options」メニューが表示されます。追加のオプションについて、次の表を参照してください。

項目	パラメーター	説明
Advanced Crash Dump Mode	[Disabled] Enabled	本オプションは指定ある場合を除き、出荷時設定から変更しないでください。 「Enabled」に設定した場合、システムがクラッシュした場合に、AHSログに追加のデバック情報を記録するようにシステムを構成します。

[ ]: 出荷時の設定

(8) Embedded Applications メニュー

システムユーティリティから、「Embedded Applications」を選択すると、「Embedded Applications」メニューが表示されます。

追加のオプションについて、次の表を参照してください。

項目	パラメーター	説明
Embedded Diagnostics	-	本機ではサポートされません。

[ ]: 出荷時の設定

■本件に関するお問い合わせについて

本書の内容に不明点がありました場合は、下記ファーストコンタクトセンターまでお問い合わせください。

お問い合わせ先：ファーストコンタクトセンター  
TEL : 0120-5800-72 (2018年11月19日以降) 03-3455-5800 (2018年11月16日まで)  
受付時間 : 9:00~12:00 13:00~17:00 月曜日~金曜日 (祝日を除く)  
※番号をお間違えにならないようお確かめのうえお問い合わせください。

— M e m o —

# Precautions for Using Express5800/T120h

Thank you for purchasing our products.

This document provides the precautions on the use of this product.

Please read through the instructions below and keep this document in a safe place for your future reference.

## ■ Precautions

### ● About the manual of this product.

For Starter Pack, the user's guide and the other related documents of this product, please refer to Download on the following URL. Regarding Starter Pack, it is also provided as an optional product.

< <http://www.nec.com/express> >

- Related Links : Download
- Documents & Software
- Tower: (Select your server model)

Please check latest information and versions on ESMPRO portal site before using NEC ESMPRO Manager, NEC ESMPRO ServerAgentService and Express Report Service / Express Report Service (HTTPS) / Express Report Service (MG).

< <http://www.58support.nec.co.jp/global/download/>>

- Windows OS
  - ESMPRO
- Linux OS
  - Documents & Software
  - Tower : (Select your server model)

### ● About Starter pack

Please see the following website to check the latest Starter Pack.

Please check the contents on the website and apply version S8.10.004.01 or later.

< <http://www.nec.com/express>>

- Related Links : Download
- Documents & Software
- Tower : (Select your server model)

### ● About service and driver modules for VMware ESXi

Please see the following web site to check the latest modules.

Please check the contents which appear on a web and apply version small after 8.10-003.01.

#### 1. Agentless Management Service and iLO Channel Interface Driver

< <http://www.nec.com/express>>

- Related Links : Download
- Documents & Software
- **Rack or Tower: (Select your server model)**

#### 2. WBEM Provider and CLI tool

< <http://www.nec.com/express>>

- Related Links : Download
- Utility

## ● Caution for rebooting the iLO

Do not reboot the iLO from the boot of the server until the completion of the OS boot.

Additionally, do not reboot the iLO during using the System Utilities.

Under such circumstances, restarting the iLO may cause an unexpected result.

For example, when you are changing some options of the System Utilities, rebooting the iLO (\*) may lead to losing some server settings such as Serial Number and Product ID.

< How to reboot the iLO >

- Rebooting the iLO via network connections such as using the iLO web interface.
- Rebooting the iLO via UID switch.

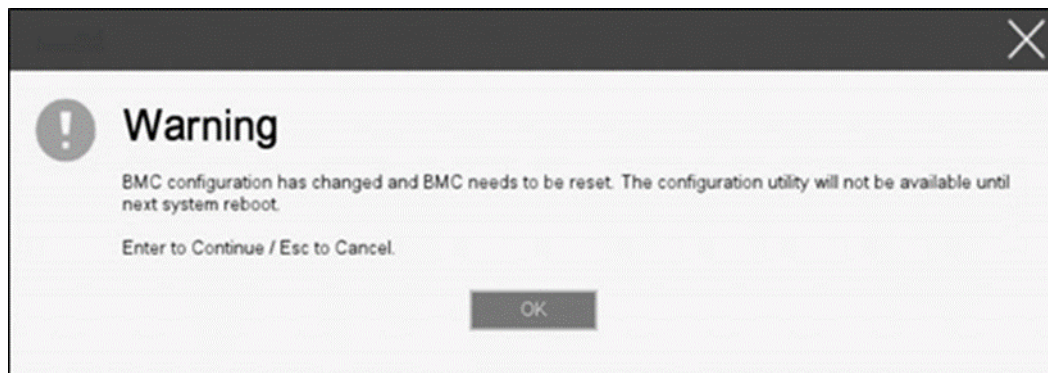
To reboot the iLO after changing the settings in BMC Configuration Utility in the System Utilities, refer to **Caution for operating BMC Configuration Utility in the System Utilities** below.

## ● Caution for operating BMC Configuration Utility in the System Utilities

If you execute POST or change the BMC configuration while rebooting the iLO, some server settings such as Serial Number and Product ID may be lost.

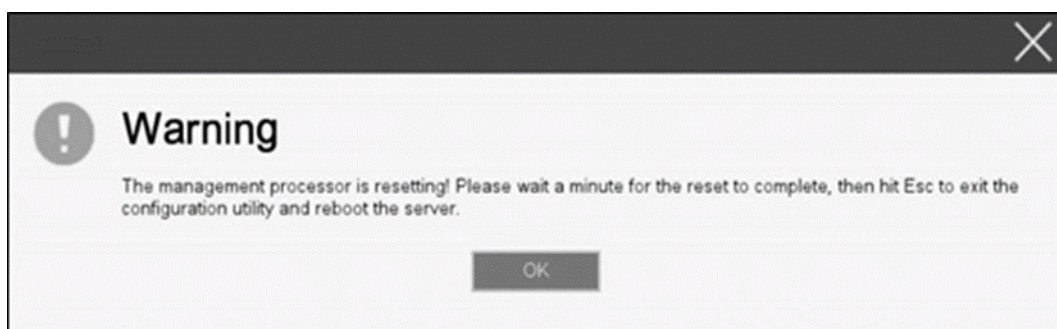
To avoid this trouble in rebooting the iLO, follow these steps:

- (1) In the System Utilities, changing the settings of BMC Configuration Utility may display the following pop-up before rebooting the iLO:



- (2) Press OK to proceed.

- (3) The iLO will start to reboot and then the following pop-up appears:



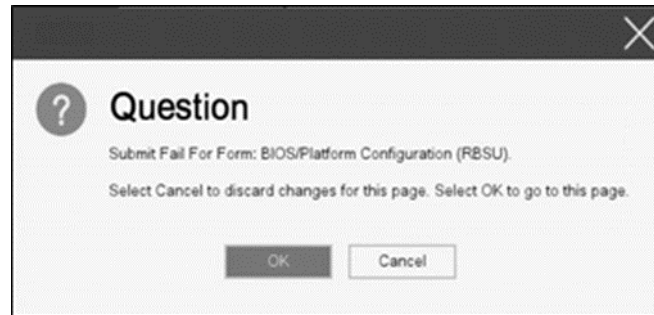
- (4) Leave this pop-up for one minute.
- (5) Confirm if the iLO reboot is completed.
- (6) If the confirmation succeeds, press OK to proceed.
- (7) Press the ESC key several times to return to the top screen of the System Utilities.
- (8) From the top screen, select Reboot the System to reboot the server.

A failure to wait for the completion of iLO reboot above may cause some server settings such as Serial Number and Product ID to be lost.

You can check the iLO operating status with the Status LED on the front side of the server. When the LED flashes in green (once per second), the iLO is restarting. If the LED lights in green, the iLO is operating normally through the restart completion.

### ● Caution for the “Submit Fail For Form” Question pop-up

If you encounter the “Submit Fail For Form” Question pop-up while changing the configuration in the System Utilities, **discard the changes by pressing Cancel**. To apply the desired changes after that, reboot the server and re-enter the System Utilities. Selecting OK to continue the changes may cause some server settings such as Serial Number and Product ID to be lost.



### ● How to recover lost Serial Number and Product ID

If the server loses Serial Number and Product ID, recover them as follows:

- (1) Power off the server. Then disconnect the plug from the outlet.
- (2) Wait 30 seconds. Then plug the server into the outlet again.
- (3) Turn on the server with the POWER button.
- (4) The server starts up and the POST screen appears.
- (5) Press the F9 key to enter the System Utilities.  
If this fails, initialize the RBSU settings with the system maintenance switch (refer to “Chapter 1 7.3.3 Set the System Configuration Back to Default Values” of the maintenance guide).
- (6) Check the values of Serial Number and Product ID by selecting the menu of the System Utilities: System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > Advanced Options > Advanced Service Options.
- (7) If the values of Serial Number and Product ID are satisfactory, go to step 14.
- (8) If the values are unexpected or lost, select the menu of the System Utilities: System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > System Default Options.
- (9) Select the Restore Default Manufacturing Settings option.
- (10) Select this option: Yes, restore the default settings.
- (11) The server restarts automatically and the POST screen appears.
- (12) Press the F9 key to enter the System Utilities.

(13) Set the proper Serial Number and Product ID (indicated on the pull-out tab of the server) via the menu of the System Utilities: System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > Advanced Options > Advanced Service Options.

(14) If the RBSU settings have been changed from the defaults, check and configure the new values.

### ● Caution for recovering from a Red Screen of Death (RSOD) screen

If you have changed the server configuration/settings or the system status, a Red Screen of Death (RSOD) screen appears in rare cases before starting up the OS. This may cause the server to become uncontrollable. However, the server may recover from the RSOD by turning off and then on the power again.

To recover from this condition, power off and then on the server again.

If the problem persists, contact your sales representative for maintenance.

```
X64 Exception Type 00 - General Protection Exception
RCX=af000000af000000  DI=0000000000000000  R0=0000000000000000  R9=FFFFFFFFFFFFFFFF
ESP=000000009c0e6eb  BP=0000000098251f8e  AM=0000000098a45e88  BX=0000000000000000
R10=0000000000000004  I1=FFFFFFFFFFFFFFFF  I2=0000000000000000  I3=0000000098251f8e
R14=0000000000000010  I5=0000000098251f8e  S1=af000000af000000  DI=af000000af000000
CR2=0000000000000000  CR3=000000009c0e6eb  CR4=00000013  CR4=00000060  CR0=00000000
CS=00000038  DS=00000030  SS=00000030  ES=00000030  RFL6GS=0010282
MSR: 0x100 = 00004001, 0x345=000033c5, 0x1c9=0000001f

LBRs From To From To
01h 0000000098a2e782->00000000981f2191 000000009802e8fe->0000000098a2e780
03h 0000000098a3c997->0000000098a2e809 0000000098a3c000->0000000098a3c995
05h 0000000098a30955->0000000098a3c0df 0000000098a307f3->0000000098a3095e
07h 0000000098a30759->0000000098a307ed 000000009c0f5160->0000000098a30744
09h 000000009c0f5183->000000009c0f5198 000000009c0f516a->000000009c0f5170
0bh 000000009c0f514f->000000009c0f515b 000000009c0f51cf->000000009c0f5136
0dh 000000009c0f514c->000000009c0f5163 00000000989100a4->000000009c0f5130
0fh 0000000098911311->0000000098911c9e 0000000098911c99->0000000098911330

CALL ImageBase ImageName-Offset
00h 000000009a20000 PlatformRecoveryApp+001732h
address out of range
```

### ● About System Utilities

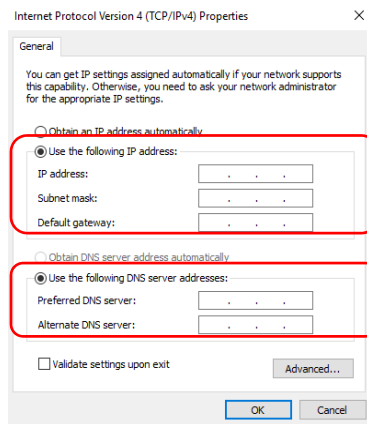
1. To protect configuration of the BMC Configuration Utility, set the option "BMC Configuration Utility > Require user login and configuration privilege for BMC Configuration" to Enabled.
2. The Maximum Size and Installed Size of L2 and L3 cache in "System Information > Processor Information" are indicated by the values that a 1MB is converted into 1024000 bytes.

### ● Notes on changing configuration of CPU board after setting up Windows Server2012 R2/2016.

1) When fixed IP address or DNS is set for the following options, add a CPU board by the following procedure. (The procedure is necessary to take over the fixed IP address setting even after the CPU expansion.)

- N8104-173 Dual Port 10GBASE-T LOM Card
- N8104-177 Dual Port 25GBASE SFP+ LOM Card
- N8104-182 Dual Port 10GBASE-T Adapter (2ch)
- N8104-183 Dual Port 10GBASE-T Adapter (2ch)
- N8104-185 Dual Port 10GBASE SFP+ Adapter
- N8104-187 Dual Port 25GBASE SFP28 Adapter
- Expanded PCI Card with PCI-to-PCI bridge

- a) Change settings such that the service that refers to the relevant option does not start up automatically and stop service. In addition, when the storage is connected to the option, remove the LAN cable from the option before the following work so that the option does not recognize the storage.
- b) When setting LAN teaming at the option, cancel teaming.
- c) Record IP address of the option /sub netmask / default gateway / preferred DNS server / alternate DNS server (the parts in the red frames below.)



- d) Change the settings of the option as follows: "Obtain an IP address automatically", for IP address and "Obtain DNS server address automatically." for DNS address.
- e) Follow the user's guide to add a CPU board.
- f) Set IP address/sub netmask/ default gateway/ preferred DNS server/ alternate DNS server, which are recorded in Step c), to the option.
- g) Set LAN teaming again.
- h) Set up again the service whose setting was changed in Step a) so that the service starts automatically. When the option is connected to storage, connect the LAN cable again such that the option can recognize the storage.

### Tips

If you do not follow above procedure, a message appears, telling for example, that the fixed IP address is used by another device, and you may not be able to set a fixed IP address.

In that case, execute the commands below by command prompt and boot the device manager. Then, click [View] - [Show hidden devices] and expand the network adapter tree, and then delete the grayed out devices that are not in use.

```
>set devmgr_show_nonpresent_devices=1
>Start DEVMGMT.MSC
```

- 2) When you refer to network of NEC ESMPRO Manager, a duplicate network card will be displayed after the configuration of the expanded CPU board is changed CPU processor kit. Please ignore the network device that is not displayed on the OS, and the detail information of the network device will be displayed as "Unknown".

## ● Notes of using Windows Server 2016

In Windows Server 2016 use, the next event log is sometimes registered. And, the resolution of the display is switched over to the low resolution at that time.

< Event Log >

Date : 2017/06/08 20:32

ID : 4113

Source : Display

Level : Warning

Description : Display driver MxG2eDo64 stopped responding and has been successfully disabled.

In this case, the resolution can't be changed, but the other function is no problem. It's normalized by restarting, but when the same case is repeated, please disable Matrox GA driver.

● **About EXPRESSBUILDER Help**

If the EXPRESSBUILDER help is different from Maintenance Guide, do not use the help but the guide.

● **About EXPRESSBUILDER Manual Installation**

Partitions in the target disk are deleted when you install the Windows by EXPRESSBUILDER even if you select the "Manual" option.

Pay attention to the user data stored in the system drive when re-installing Windows.

● **Notice on using NEC ESMPRO Manager (Windows) and Express Report Service (MG)**

Depending on the combination of iLO firmware version of this product with NEC ESMPRO Manager (Windows) and Express Report Service (MG) (Windows), it may be necessary to update NEC ESMPRO Manager (Windows) and iLO Receiving Information (ilo\_en.mtb, iml\_en.mtd). Refer to the following information to update to the latest version, if needed.

◆ Phenomena regarding NEC ESMPRO Manager (Windows)

iLO firmware version	NEC ESMPRO Manager (Windows) Version	Phenomena
1.30 or higher	Lower than 6.25	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Configuration Tab - Server Status screen "SNMP Alert setting" will show error message "Failed to get SNMP Alert setting".</li> <li>• Remote Control Tab - iLO Information - Show IML or Save IML NEC ESMPRO Manager will fail to get IML information and Show IML or Save IML feature will not work.</li> <li>• AlertViewer New Alerts of hardware failure added with firmware update will be displayed as "Unknown" alert on AlertViewer.</li> </ul>
	Lower than 6.31	<ul style="list-style-type: none"> <li>• AlertViewer New Alerts of hardware failure added with firmware update will be displayed as "Unknown" alert on AlertViewer, or they will not be displayed on AlertViewer.</li> </ul>

◆ Updating NEC ESMPRO Manager (Windows)

(1) Download the latest version of NEC ESMPRO Manager from the following website.

<http://www.58support.nec.co.jp/global/download/index.html>

- ESMPRO tab
- NEC ESMPRO Manager

(2) Update NEC ESMPRO Manager. For details, refer to Chapter 2 Installation in "NEC ESMPRO Manager Ver. 6 Installation Guide (Windows) [PDF]".

◆ Phenomena regarding iLO Receiving Information (ilo\_en.mtb)

\* Intend for users of NEC Express Report Service (MG)

iLO firmware version	iLO Receiving Information Version	Phenomena
1.30 or higher	ilo_en.mtb Lower than 1.1.0  iml_en.mtb Lower than 1.1.0  * There are 2 kinds of iLO Receiving Information.	It is impossible to detect a failure of the hardware added along with the update of hardware and to issue an alert of this failure. * If iLO Receiving Information has been updated and NEC ESMPRO Manager has not been updated, it is impossible to detect the failure of the added hardware and issue the alert of the failure, as with the above.



#### ◆ Updating iLO Receiving Information

(1) Download the latest version of iLO Receiving Information(ilo\_en.mtb, iml\_en.mtd) from the following website.

<http://www.58support.nec.co.jp/global/download/index.html>

- ESMPRO tab
- Express Report Service (MG) (Windows) Receiving Information
- iLO.zip

(2) Delete current Receiving Information from Express Report Service (MG) (Windows).  
For details refer to "3.1.5 Setting for Receiving Information" or "3.2.4 Setting for Receiving Information" in "Express Report Service (MG) Installation Guide (Windows)".

(3) Set the latest version of Receiving Information downloaded in step (1) to Express Report Service (MG)

\* Download "Express Report Service (MG) Installation Guide (Windows)" from the following website.

<http://www.58support.nec.co.jp/global/download/index.html>

- ESMPRO tab
- Express Report Service (MG) (Windows)

#### ◆ The steps of confirmation for iLO FW version

- Server Health Summary  
Push the UID button on the server and check the version of the iLO firmware on the console connected to the server.  
(For the detail, refer to Server Health Summary in iLO5 user guide.)
- Remote  
Check the version of the iLO firmware on "Firmware & OS Software - Installed Firmware" by iLO web interface.

#### ◆ The steps of confirming version for NEC ESMPRO Manager (Windows)

- (1) Log in NEC ESMPRO Manager.
- (2) Click the "About NEC ESMPRO Manager" link at the top right of the screen.
- (3) Confirm the version information of NEC ESMPRO Manager.

#### ◆ The steps of confirming version for iLO Receiving Information (ilo\_en.mtb, iml\_en.mtd)

Confirm the version of "iLO SNMP Trap" in "Setting for receiving information" screen.  
Regarding "Setting for receiving information" screen, refer to 3.1.5 Setting for Receiving Information or 3.2.4 Setting for Receiving Information in "Express Report Service (MG) Installation Guide (Windows)".

### ● Notes for using VMware ESXI

At VMware vSphere > Monitor > Hardware > Sensor, the following warning of Heartbeat Lost sensor is displayed, but ignore this message since it does not cause any problem for the operation.

[Device] I/O Module (n\*) LOM\_Link\_P(n\*): Heartbeat Lost-Assert  
[Device] I/O Module (n\*) NIC\_Link\_P(n\*): Heartbeat Lost-Assert

\* n means LAN port number, from P1 to P4.

## ● Notes for using Linux OS

Please use the device name of LOM or Option NIC that is recognized automatically by the OS.

Please do not change or fix the option NIC device name based on the PCI address, when adding unique udev rules. In addition, please do not use the storage device name including the PCI address that is located on /dev/disk/by-path/.

Please do not change the CPU configuration and add/remove cards into/from the PCI slot when using a device name based on the PCI address. Changes of PCI bus address information have an influence on the name of a device connected via PCI. As a result, access to network or storage may become impossible, and the system may not start normally.

## ● Notes of using VMware ESXi 6.0

When VMware ESXi 6.0 is used on Express5800/T120h, the upper limit of the number of LAN ports which VMware ESXi 6.0 defines will be exceeded. Therefore, please set the embedded LAN to Disabled in the BIOS settings, before installing OS.

System Utilities(F9) > System Configuration > BIOS/Platform Configuration(RBSU) > PCIe Device Configuration > Embedded LOM1:HPE Ethernet 1Gb 4-port 369i Adapter > PCIe Device Disable Auto -> Disabled

## ● Notes for using UPS with connecting to UPS

When connecting UPS to a serial port, set the following items to 'Disabled'.

- 1.System Utilities(F9) > System Configuration > BIOS/Platform Configuration(RBSU) > System Options > Serial Port Options > BIOS Serial Console and EMS > BIOS Serial Console Port [Auto] -> [Disabled]
- 2.System Utilities(F9) > System Configuration > BMC Configuration Utility > Setting Options > Serial CLI Status [Enabled - Authentication Require] -> [Disabled]

## ● Notes of using SAS controller (N8103-184)

To use SAS controller (N8103-184) installed on this product, please ensure that the following conditions are met.

- Redundant Fan Kit (N8181-169) is installed in this product.
- Normally, up to three SAS controllers (N8103-184) can be installed in this product. However, for connecting with NEC Storage M Series, up to two SAS controllers (N8103-184) can be installed.
- Normally, PCI slots 1, 3, 5, 6, 7 and 8 are available for SAS controllers (N8103-184). However, when slot 1 or 3 is used for the SAS controller (N8103-184), please leave slots 2 and 4 blank with no PCI card installed.
- Configure System Utilities as below.

System Utilities(F9) > System Configuration > BIOS/Platform Configuration(RBSU) > Advance Options > Fan and Thermal Options > Thermal Configuration [Optimal Cooling] -> [Increased Cooling]

## ● Precautions for using 128GB DDR4-2666 LR Memory Kit (N8102-713)

This server cannot be intermingled with RDIMM (N8102-708,709,710,711), LRDIMM (N8102-712) or 3DS LRDIMM (this DIMM).

If it is intermingled with any of them, the server may stop during POST.

Please compose memory in each memory group.

Examples of memory configuration: Combination of RDIMMs. Combination of LRDIMMs. Combination of 3DS LRDIMMs.

When T120h installs 7 or more N8102-713 per CPU, which means the capacity is beyond 768GB per CPU, please prepare CPU (N8101-1451 to 1464) that has "M" at end of CPU name, e.g.: Xeon Gold 6134M.

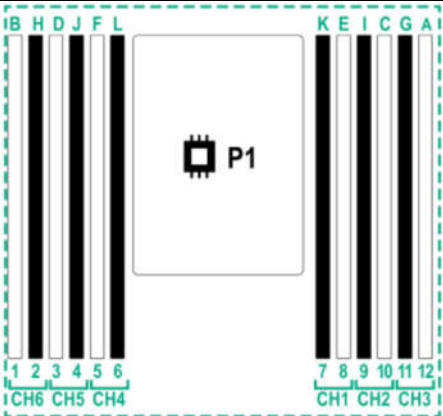

Please refer to the system configuration guide of this server (T120h) for details.

● **Factory settings on the following items of BIOS/Platform Configuration (RBSU) are as below.**

1. System Utilities(F9) > System Configuration > BIOS/Platform Configuration(RBSU) > Workload Profile : Custom
2. System Utilities(F9) > System Configuration > BIOS/Platform Configuration(RBSU) > Power and Performance Options > Minimum Processor Idle Power Core C-State: No C-states
3. System Utilities(F9) > System Configuration > BIOS/Platform Configuration(RBSU) > Power and Performance Options > Minimum Processor Idle Power Package C-State: No Package States

● **Errata Information for Express5800/T120h User's Guide**

The following table covers corrections for Express5800/T120h User's Guide. Please read the following information and use it as reference.

	Error	Correct
P.22 3.Features Expandability	Large capacity memory of up to <b>1.5TB</b> *6	Large capacity memory of up to <b>3.0TB</b> *6
P.27 4.3 Rear View (3) DisplayPort	<b>DisplayPort operation is confirmed by the N8005-1007 DP-VGA conversion connector, however, please try to perform a full verification before use.</b>	<b>Not Support</b>
P.31 4.5.2 DIMM slot		
P.53 1.6 TPM Kit	Install the TPM (Trusted Platform Module) kit to this machine following the procedure in 1.6.1 Installing the <b>TPM kit</b> .	Install the TPM (Trusted Platform Module) kit to this machine according to the procedure in 1.6.1 Installing the <b>N8115-35 TPM</b> .
P.73 1.11 DIMM - Tips	Up to <b>1536GB (64 GB x 24)</b> can be installed in 2-CPU configuration. Up to <b>768 GB (64 GB x 12)</b> can be installed in 1-CPU configuration. No DIMM is factory installed in standard configuration.	Up to <b>3,072GB (128 GB x 24)</b> can be installed in 2-CPU configuration. Up to <b>1,536 GB (128 GB x 12)</b> can be installed in 1-CPU configuration. No DIMM is factory installed in standard configuration.
P.73 1.11.1 Maximum supported memory size - The maximum memory size supported on the server (5points)	<b>1.5TB</b>	<b>3.0TB</b>
P.79 (1) Memory Mirroring Function	From System Utility, set "System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > <b>System Options &gt; Memory Operations</b> > Advanced Memory Protection" to "Mirrored Memory with Advanced ECC Support".	From System Utility, set "System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > <b>Memory Options</b> > Advanced Memory Protection" to "Mirrored Memory with Advanced ECC Support".
P.81 (2) Memory Sparing Function	From System Utility, set "System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > <b>System Options &gt; Memory Operations</b> > Advanced Memory Protection" to "Online Spare with Advanced ECC Support".	From System Utility, set "System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > <b>Memory Options</b> > Advanced Memory Protection" to "Online Spare with Advanced ECC Support".

	Error	Correct																																																				
P.81 (2) Memory Sparing Function	From System Utility, set "System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > <b>System Options &gt; Memory Operations</b> > Advanced Memory Protection" to "Online Spare with Advanced ECC Support".	From System Utility, set "System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > <b>Memory Options</b> > Advanced Memory Protection" to "Online Spare with Advanced ECC Support".																																																				
P.83 (3) Memory ADDDC function	From the System Utilities, select "System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > <b>System Options &gt; Memory Operations</b> " to set "Advanced Memory Protection" to "Fault Tolerant Memory (ADDDC)".	From the System Utilities, select "System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > <b>Memory Options</b> " to set "Advanced Memory Protection" to "Fault Tolerant Memory (ADDDC)".																																																				
P.83 (3) Memory ADDDC function - Note	The DIMM compatible with the memory ADDDC function is " <b>N8102-709</b> ", " <b>N8102-711</b> ", and " <b>N8102-712</b> ".	The DIMM compatible with the memory ADDDC function is " <b>N8102-709/711/712/713</b> ".																																																				
P.118 1.16.2 Supported PCI cards and available slots	*3 A maximum of 1 battery can be implemented per <b>device</b>	*3 A maximum of 1 battery can be implemented per <b>system</b>																																																				
P.134 1.21.2 Installing N8103-198 Extension Battery in a Normal Setting	1.21.2 Installing <b>N8103-198</b> Extension Battery in a Normal Setting	1.21.2 Installing <b>N8103-203</b> Extension Battery in a Normal Setting																																																				
P.137 1.22.1 Installing the Internal Drive DVD-ROM N8151-137/DVD-Super MULTI N8151-138	<ul style="list-style-type: none"> <li>● T-10 hexalobular driver</li> <li>● <b>Optical disk drive cable kit (K410-375(00))</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● T-15 hexalobular driver</li> <li>● <b>Internal DVD Drive Installation Kit (N8154-122)</b></li> </ul>																																																				
P.139 1.22.1 Installing the Internal Drive DVD-ROM N8151-137/DVD-Super MULTI N8151-138	7. Connect the optical disk drive connector to the onboard SATA port 5 connector on the motherboard with the SATA cable for <b>optical disk drive (K410-375 (00))</b> . <b>Wire the cables as shown below.</b>	7. Connect the optical disk drive connector to the onboard SATA port 5 connector on the motherboard with the SATA cable for <b>Internal DVD Drive Installation Kit (N8154-122)</b> . <b>For the wiring of cables, refer to the diagram below.</b>																																																				
P.141 1.23.1 Notes on Building RAID System	<p>If the optional RAID Controller(N8103-189/195) is used, the RAID System cannot be built in <b>RAID5/RAID6/RAID50/RAID60</b>.</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">RAID level</th> <th colspan="2">The minimum number of hard disk drives required to set up a RAID System</th> </tr> <tr> <th>N8103-189/195</th> <th>N8103-190/191/196/201</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>RAID 0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>RAID 1</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>RAID 5</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>RAID 6</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>RAID 10</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>RAID 50</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>RAID 60</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>	RAID level	The minimum number of hard disk drives required to set up a RAID System		N8103-189/195	N8103-190/191/196/201	RAID 0	1	1	RAID 1	2	2	RAID 5	/	3	RAID 6	/	3	RAID 10	4	4	RAID 50	/	6	RAID 60	/	6	<p>If the optional RAID Controller(N8103-189/195) is used, the RAID System cannot be built in <b>RAID6/RAID50/RAID60</b>.</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">RAID level</th> <th colspan="2">The minimum number of hard disk drives required to set up a RAID System</th> </tr> <tr> <th>N8103-189/195</th> <th>N8103-190/191/196/201</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>RAID 0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>RAID 1</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>RAID 5</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>RAID 6</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>RAID 10</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>RAID 50</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>RAID 60</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table>	RAID level	The minimum number of hard disk drives required to set up a RAID System		N8103-189/195	N8103-190/191/196/201	RAID 0	1	1	RAID 1	2	2	RAID 5	3	3	RAID 6	/	4	RAID 10	4	4	RAID 50	/	6	RAID 60	/	8
RAID level	The minimum number of hard disk drives required to set up a RAID System																																																					
	N8103-189/195	N8103-190/191/196/201																																																				
RAID 0	1	1																																																				
RAID 1	2	2																																																				
RAID 5	/	3																																																				
RAID 6	/	3																																																				
RAID 10	4	4																																																				
RAID 50	/	6																																																				
RAID 60	/	6																																																				
RAID level	The minimum number of hard disk drives required to set up a RAID System																																																					
	N8103-189/195	N8103-190/191/196/201																																																				
RAID 0	1	1																																																				
RAID 1	2	2																																																				
RAID 5	3	3																																																				
RAID 6	/	4																																																				
RAID 10	4	4																																																				
RAID 50	/	6																																																				
RAID 60	/	8																																																				
P.204 1. Specifications - Memory - Standard / Maximum	Not included / Registered DIMM: 768GB (24x 32GB), Load Reduced DIMM: <b>1.5TB (24x 64GB)</b>	Not included / Registered DIMM: 768GB (24x 32GB), Load Reduced DIMM: <b>3.0TB (24x 128GB)</b>																																																				

	Error	Correct
P.204 1. Specifications - Memory - Memory module	DDR4-2666 Registered DIMM (8/16/32GB), DDR4-2666 Load Reduced DIMM ( <b>64GB</b> )	DDR4-2666 Registered DIMM (8/16/32GB), DDR4-2666 Load Reduced DIMM ( <b>64/128GB</b> )
P.204 1. Specifications - Power supply units *only a part of difference	AC Power Unit ( <b>N8181-159, 160</b> ) <b>500W/800W</b> 80 PLUS® Platinum power supply unit (Outlet with two pole parallel earth) (Hot-plugged) (Max:2) <b>AC100-120V/200-240V</b> ±10%, 50/60Hz ±3Hz (Power code is selectable)	AC Power Unit ( <b>N8181-159</b> ) <b>500W</b> 80 PLUS® Platinum power supply unit (Outlet with two pole parallel earth) (Hot-plugged) (Max:2) <b>AC100-240V</b> ±10%, 50/60Hz ±3Hz (Power code is selectable) <b>AC Power Unit (N8181-160)</b> <b>800W</b> 80 PLUS® Platinum power supply unit (Outlet with two pole parallel earth) (Hot-plugged) (Max:2) <b>AC100-240V</b> ±10%, 50/60Hz ±3Hz (Power code is selectable)

## ● Errata Information for Express5800/T120h Maintenance Guide

The following table covers correction for Maintenance Guide.  
Please read the following information and use it as reference.

	Error	Correct
P.71 (2) Processor Options Menu - Intel(R) Hyper-Threading	<b>[Disabled]</b> <b>Enabled</b>	<b>[Enabled]</b> <b>Disabled</b>
P.83 (c) iSCSI Configuration Menu (4 points)	<b>iSCSI Boot Configuration</b>	<b>iSCSI Configuration</b>
P.103 (b) TLS (HTTPS) Options Menu	Advanced <b>Secure</b> Settings	Advanced <b>Security</b> Settings
P.104 ①. Advanced Secure Settings Menu	Advanced <b>Secure</b> Settings	Advanced <b>Security</b> Settings
P.163 6.2 NEC ESM PRO Manager	<a href="http://jpn.nec.com/esmsm/download.html">http://jpn.nec.com/esmsm/download.html</a>	<a href="http://www.58support.nec.co.jp/global/download/">http://www.58support.nec.co.jp/global/download/</a>
P.165 8. Smart Storage Administrator	●N8103-195 <b>RAID</b> Controller (0GB, RAID 0/1)	●N8103-195 <b>RAID/SAS</b> Controller (0GB, RAID 0/1)

## ● Errata Information for Express5800/T120h Installation Guide(Windows)

The following table covers correction for Installation Guide (Windows).  
Please read the following information and use it as reference.

	Error	Correct
P.14 1.4 Supported Mass Storage Controllers	N8103-195 <b>RAID</b> Controller (RAID 0/1)	N8103-195 <b>RAID/SAS</b> Controller (RAID 0/1)
P.21 3.1 Precautions of Windows Server 2016 Installation ● When installing using Assisted option	-	<b>*1 May be 300MB in size depending on hard disk drive type.</b>  <b>**It is added on *2</b>
P.117 1.3 Smart Storage Administrator	●N8103-195 <b>RAID</b> Controller (0GB, RAID 0/1)	●N8103-195 <b>RAID/SAS</b> Controller (0GB, RAID 0/1)

## ● The additional options by firmware update

Some options are added or changed by firmware update of this product.

The additional options are listed below.

### (1) Diagnostics Options Menu

When you select System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > System Options > Diagnostics Options from the System Utilities, the Diagnostics Options menu appears.

For details about the additional options, see the table below.

Option	Parameter	Description
Embedded Diagnostics	[Enabled] Disabled	This product does not support it.

[ ]: Default setting

### (2) Memory Options Menu

When you select System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > Memory Options from the System Utilities, the Memory Options menu appears.

For details about the additional options, see the table below.

Option	Parameter	Description
Memory Controller Interleaving	[Auto] Disabled	Use this option to control the Memory Controller Interleaving option. When set to Auto, the system will automatically enable or disable memory controller interleaving based on the configuration of the system. When set to disabled, the user may force disable memory controller interleaving. In certain memory configurations, setting this option to disabled has showed a performance benefit across all memory in the system. It is recommended to leave this option to set to Auto.
Opportunistic Self-Refresh	[Disabled] Enabled	When "Enabled" is selected, self-refresh of memory is performed when the main memory is in the idle state. When "Disabled" is selected, regular-refresh of memory is performed.

[ ]: Default setting

### (3) Intel UPI Options Menu

When you select System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > Power and Performance Options > Intel UPI Options from the System Utilities, the Intel UPI Options menu appears.

For details about the additional options, see the table below.

Option	Parameter	Description
Direct To UPI (D2K)	[Auto] Enabled Disabled	When "Enabled" is selected, Latency of the last level cache is reduced. Please don't change this setting unless it's designated. This options appears on only dual processor configuration.

[ ]: Default setting

### (4) Advanced Performance Tuning Options Menu

When you select System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > Power and Performance Options > Advanced Performance Tuning Options from the System Utilities, the Advanced Performance Tuning Options menu appears.

For details about the additional options, see the table below.

Option	Parameter	Description
Processor Jitter Control Optimization	Optimized for Throughput Optimized for Latency [Zero Latency]	This option optimizes the thresholds used when the Auto-tuned function detects fluctuations in processor frequency. Optimized for throughput allows only the amount of fluctuations that doesn't impact overall compute throughput. Optimized for Latency allows for a very small amount of occasional fluctuations to occur before reducing processor frequency. Zero Latency attempts to eliminate any frequency fluctuations.

[ ]: Default setting

(5) PCIe Devices Configuration Menu

When you select System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > PCI Device Configuration from the System Utilities, the PCI Device Configuration menu appears.

For details about the additional options, see the table below.

Option	Parameter	Description
Advanced PCIe Configuration	-	-

[ ]: Default setting

(a) Advanced PCIe Configuration Menu

When you select System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > PCIe Device Configuration > Advanced PCIe Configuration from the System Utilities, the Advanced PCIe Configuration menu appears.

For details about the additional options, see the table below.

Option	Parameter	Description
PCIe Bifurcation Options	-	-

[ ]: Default setting

i. PCIe Bifurcation Options

When you select System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > PCIe Devices Configuration > Advanced PCIe Configuration > PCIe Bifurcation Options from the System Utilities, the PCIe Bifurcation Options menu appears.

For details about the additional options, see the table below.

Option	Parameter	Description
PCIe Slot XX Bifurcation	[Auto] Slot Bifurcated	If the device installed in the slot supports this capability, the "Slot Bifurcated" can be selected. When "Auto" is selected, the PCIe slot will train at the maximum width supported by the slot and end point. When "Slot Bifurcated" is selected, the PCIe slot will be bifurcated into two equal width slots.  XX: 1/2/3... (XX appears as specific slot number by the processor or the riser card configuration.)

[ ]: Default setting

(6) Fan and Thermal Options Menu

When you select System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > Advanced Options > Fan and Thermal Options from the System Utilities, the Fan and Thermal Options menu appears.

For details about the additional parameter, see the table below.

Option	Parameter	Description
Thermal Configuration	[Optimal Cooling] Increased Cooling Maximum Cooling Enhanced CPU Cooling	Use this option to select the fan cooling solution for the system. "Optimal Cooling" provides the most efficient solution by configuring fan speeds to the minimum required speed to provide adequate cooling. "Increased Cooling" runs fans at higher speeds to provide additional cooling. Select "Increased Cooling" when third-party storage controllers are cabled to the embedded hard drive cage, or if the system is experiencing thermal issues that cannot be resolved. "Maximum Cooling" provides the maximum cooling available on this platform. "Enhanced CPU Cooling" provides additional cooling to the processors. When running certain processor intensive workloads, this option can provide additional cooling to the processors which can result in improved performance.

[ ]: Default setting

(7) Advanced Debug Options Menu

When you select System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > Advanced Options > Advanced Debug Options from the System Utilities, the Advanced Debug Options menu appears.

For details about the additional options, see the table below.

Option	Parameter	Description
Advanced Crash Dump Mode	[Disabled] Enabled	Use this option to enable the Advanced Crash Dump Mode. When enabled, the system will be configured to log additional debug information to the Active Health System logs when an unexpected system crash is experienced. This option should only be enabled when directed by qualified service personnel.

[ ]: Default setting

(8) Embedded Applications Menu

When you select Embedded Applications from the System Utilities, the Embedded Applications menu appears. For details about the options, see the table below.

Option	Parameter	Description
Embedded Diagnostics	-	This product does not support it.

[ ]: Default setting

● **For Inquiries Regarding this Matter**

If you have any questions on the contents of this document, please contact the dealer where you purchased the product or our sales representative.